

# 令和4年度事業報告書

## はじめに

生乳の需給はひっ迫傾向が続いていましたがコロナ禍による需要の減少等により一気に緩和に転じ、需給ギャップ改善のための官民挙げた取り組みが進められましたが、改めて需給バランスのとり方の難しさが知られることとなりました。さらに、ウクライナ情勢や大幅な円安等の影響を受け、資材価格の高騰等による酪農家離農の加速化や生産コスト上昇に伴う製品価格改定の影響が懸念されるなど、酪農乳業全体が大変厳しい経営環境にありました。このような中で酪農乳業に携わる方々の様々なご要望に的確にお応えできるよう、令和4年3月22日開催の第30回理事会で承認された事業計画に沿って、また、新型コロナウイルス感染予防と信頼性・サービス向上の両立に努めつつ、事業を実施しました。

乳・乳製品にこだわった試験検査機関として引き継がれ培われてきた技術やノウハウ等を最大限に活かしつつ、食品衛生法に基づく登録検査機関、ISO/IEC17025 認定試験所として、新たな分野も含めてより一層の研鑽を積んで、信頼の確保に努めました。

国際環境等の情勢変化に対応できるよう業務の合理化や新たな業務への取り組み等を積極的に進めてきたところでコロナ禍の影響を受け、大幅に減少した業務量の回復はみられたものの厳しい状況が続きましたが、酪農乳業界みなさまの試験検査機関としての役割を果たせるように努めました。

各事業の概要は、以下のとおりです。

## 〔公益目的事業〕

### 1 法令に基づく検査・認定

#### (1)食品衛生法に基づく試験検査

食品衛生法に基づく登録検査機関として、輸入乳製品の食品衛生関連法令に基づく試験検査を実施しました。

- ・ 輸入乳製品の自主検査（脱脂粉乳、バター、ホエイパウダー等）  
59 検体 （3年度 77 検体、2年度 89 検体、元年度 111 検体）

## (2)HACCP 支援法に関する認定

食品の製造過程の管理の高度化に関する臨時措置法（HACCP 支援法）に基づく指定認定機関として、日本政策金融公庫による支援措置の要件となる高度化計画及び高度化基盤整備計画認定のための情報提供、相談受付等の業務を実施し、乳業者及び6次産業化に取り組む酪農家の HACCP 導入を支援しました。改正食品衛生法に基づく HACCP 制度化が施行されたことに伴い、乳業団体が開催する小規模事業者向け手引書についての研修会のテキスト作成、講師として参画しました。また、コロナ禍のために遅れていた令和元年度高度化基盤整備計画認定事業所の工事完了の現地確認を実施しました。

- ・ 高度化計画の認定：0 件
- ・ 高度化基盤整備計画の認定：0 件（3 年度 0 件、2 年度 0 件、元年度 1 件）
- ・ 相談対応：HACCP の考え方、取り組み方策等の質問、相談を受けましたが、計画認定につながる相談はありませんでした。
- ・ 輸出促進法のみなし規定による確認：0 件(令和 4 年 10 月の輸出促進法改正により終了)

## (3)指定乳製品等検査

食品衛生法に基づく登録検査機関として、畜産物の価格安定等に関する法律施行規則等に基づき、輸入乳製品の品質検査を実施しました。依頼者の要請に的確に応えられるよう、サンプリング、検査の計画を立てて実施しました。国内の生乳需給の緩和により、輸入量はカレントアクセス分のみでした。

単位：検体

種類	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
バター	1,773	1,762	2,656	3,517
脱脂粉乳	23	62	226	938
ホエイ及び調製ホエイ	249	319	340	375
デイリースプレッド	0	0	0	0
バターオイル	64	51	47	37
加糖練乳	0	0	0	0
計	2,109	2,194	3,269	4,867

## 2 依頼による試験・調査

### (1)依頼による食品等の理化学的、微生物学的試験

食品衛生法に基づく登録検査機関、ISO/IEC17025 認定試験所として、試験を受託して実施しました。

- ・受託品目：飲用乳、アイスクリーム類、調製粉乳、発酵乳、練乳、チーズ、脱脂粉乳、飼料用粉乳、その他食品等
- ・試験項目：理化学  
乳脂肪分、無脂乳固形分、たんぱく質、灰分、放射能、金属（Na、Ca）、溶解度、スコーチドパーティクル等  
微生物  
細菌数、大腸菌群、耐熱性菌数、リステリア、高温菌数等
- ・検体数：3,210 検体  
(3年度：2,479 検体、2年度：2,484 検体、元年度：3,220 検体)  
うち、放射能検査：211 検体  
(3年度：253 検体、2年度：271 検体、元年度：390 検体)

## (2)依頼による調査

### ①全国飲用牛乳公正取引協議会の依頼による調査

全国飲用牛乳公正取引協議会の依頼を受け、全国飲用牛乳公正取引協議会製品等検査規程に基づき市販品成分検査と認定検査機関実務調査を実施しました。市販品成分検査（乳飲料を除く）については試験結果の判定まで実施し、定期成分検査（受託数は2の(1)の内数：200 検体）については合否判定まで実施しました。

市販品成分検査

単位：検体

種類	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
牛乳	174	218	189	198
加工乳	20	12	22	18
乳飲料	188	162	177	152
成分調整牛乳他	35	32	29	42
計	417	424	417	410

認定検査機関実務調査については、新型コロナウイルス感染予防の観点から、書面による調査にも対応しました。

- ・認定検査機関の実務調査：29 施設（うち新規0 施設）うち2 施設は書面調査  
(3年度：24 施設、2年度：27 施設、元年度：30 施設)

### ②生乳と乳製品の競争力強化支援事業のうち6次化乳製品の衛生管理支援事業

(公財)全国競馬・畜産振興会助成(令和3～5年度)

6次化乳製品の製造・販売により経営安定を目指す酪農家に、HACCPへの適切な対応や6次化乳製品の安全性、品質、信頼の向上のための技術的な支援を行いました。

衛生管理計画、HACCP プラン策定・検証のために必要な製造工程に沿った衛生検査と殺菌工程検証のための衛生検査、製品の安全性、品質安定・向上のために必要な検査を実施し、これらの結果に基づくアドバイス、研修会、情報提供等を実施しました。

学識経験者等からなる推進委員会(6月開催)における具体的な進め方等の検討後、7月に事業への参加案内を行い、10戸の酪農家を対象に、生乳の殺菌工程前後の微生物検査(120件)、工房の環境検査(10工房×2回)、衛生管理研修会(2回開催、延べ21人が参加)を実施しました。また、参加酪農家の乳製品80検体及び生乳20検体について成分、微生物検査等を実施し、検査結果等をHACCP対応のための参考資料として取りまとめ、協会HPに掲載しました。

### ③生乳検査体制構築事業

地方競馬全国協会補助(令和4年度)

適正な生乳取引に必要な生乳検査の精度管理及び乳牛の飼養管理指標(脂肪酸組成)検査の精度管理を図るため、ア及びイを実施しました。

- ア. 生乳検査所における生乳検査の精度管理に必要な校正用試料乳(校正乳)の提供を定期的に継続していけるよう、各成分に適切なばらつきのある校正乳の原料生乳を安定的に調達できる手法を確立するため、現状の調査や改善の可能性等についての検討を行いました。
- イ. 気候の変化、飼料の種類や給与量の変更等による乳牛の体調変化や飼料要求率の低下等を早期に把握し適切な飼養管理に資するため、飼養管理の指標として活用され始めている生乳中の脂肪酸組成について、検査の精度管理に必要な校正乳を提供するための検討を行いました。

## 3 研修会の開催・講師派遣

### [協会主催の研修会]

生乳や乳製品の検査を行う技術者を対象とした実技中心の研修会は、計6回、感染予防対策を徹底して対面形式で開催し、参加者は合計23名(3年度9名、2年度6名)でした。研修生のご要望等に的確にお応えできるよう、講義内容、資料、実習用器材等について工夫、改善を加えながら実施しました。

官能評価員育成研修会は、乳・乳製品の官能評価員能力向上・認定事業((公財)全国競馬・畜産振興会助成(令和2~4年度))を活用して開催しました。基礎研修会を5回、専門研修会を2回、集乳担当者向け基礎研修会をオンライン形式で5回開催しました。

開催実績

研修会の名称、内容等	期間・回数	参加者	
生乳検査技術研修会 実技:乳脂肪分、たんぱく質 乳固形分、比重、 体細胞数、抗生物質 講義等:生乳検査精度管理に 関する講義、認証制 度の説明	5月16日～18日	5人	
	7月11日～13日	5人	
	10月3日～5日	4人	
	1月25日～27日	5人	
	2月20日～22日	3人	
	計5回 ( 3年度 4回 2年度 3回 )	計22人 ( 3年度 7人 2年度 6人 )	
乳糖検査技術研修会 実技:レイン・エイノン法	8月25日～26日	1人	
	11月7日～8日	0人	
	計1回 ( 3年度 2回 2年度 0回 )	計1人 ( 3年度 2人 2年度 0人 )	
官能評価員育成 基礎研修会 研修会	4月27日	4人	
	6月7日	14人	
	7月6日	24人	
	9月15日	5人	
	10月28日	8人	
	専門研修会	6月14日～15日	6人
		12月20日～21日	15人
	計7回 ( 3年度 2回 2年度 5回 )	計76人 ( 3年度 23人 2年度 32人 )	
集乳担当者向け 基礎研修会	オンライン 5回 ( 3年度 オンライン 8回 対面 1回 ハイブリッド 3回 )	195人 ( 3年度 オンライン 104人 対面 13人 ハイブリッド 14人 )	

【乳業関係団体等の依頼による研修会】

全国飲用牛乳公正取引協議会、一般社団法人日本アイスクリーム協会、一般社団法人全国発酵乳乳酸菌飲料協会等の依頼を受け、検査技術研修会 12 回(3 年度 7 回、2 年度 7 回)、アイスクリーム検査技術研修会 2 回(3 年度 1 回、2 年度 1 回)、微生物検査研修会 1 回(3 年度 0 回、2 年度 0 回)及びレーゼゴットリーブ法研修会 1 回(初開催)の合計 16 回実施し、参加者は合計 89 名(3 年度 39 名、2 年度 15 名)でした。

開催実績

研修会の名称、内容等	期間・回数	参加者
全国飲用牛乳公正取引協議会 検査技術研修会 ・分析基礎コース 実技：乳脂肪分、たんぱく質、 乳固形分（全固形分） 比重、滴定酸度 講義等：精度管理に関する講義 ・細菌検査コース 実技：細菌数、大腸菌群、 低温菌数、 耐熱性菌数、体細胞数、 抗生物質 講義等：精度管理に関する講義 ・合併コース 実技：分析基礎コース、細菌検査コースの合併	5月23日～5月27日 合併コース	5人
	6月1日～6月3日 分析基礎コース 細菌検査コース	4人 5人
	6月20日～6月24日 合併コース	5人
	6月27日～7月1日 合併コース	5人
	7月27日～7月29日 分析基礎コース 細菌検査コース	3人 5人
	8月29日～9月2日 合併コース	4人
	9月26日～9月30日 合併コース	4人
	10月24日～10月28日 合併コース	4人
	11月14日～11月18日 合併コース	4人
	11月28日～12月2日 合併コース	5人
	1月30日～2月3日 合併コース	5人
	3月6日～3月8日 分析基礎コース	4人
	計12回 （ 3年度 7回 ） （ 2年度 7回 ）	計62人 （ 3年度 31人 ） （ 2年度 12人 ）
一般社団法人 全国発酵乳乳酸菌飲料協会 微生物検査研修会 実技：一般細菌数、乳酸菌数、 ビフィズス菌数、大腸菌群 講義：発酵乳・乳酸菌飲料における微生物学の基礎と検査方法	10月19日～10月20日 （ 3年度 0回 ） （ 2年度 0回 ）	10人 （ 3年度 0人 ） （ 2年度 0人 ）

一般社団法人日本アイスクリーム協会 アイスクリーム検査技術研修会 ・理化学コース 実技：乳脂肪分、たんぱく質、 全固形分 ・微生物コース 実技：細菌数、大腸菌群 黄色ブドウ球菌、抗生物質	12月12日～14日 理化学コース 微生物コース	5人 3人
	2月13日～15日 理化学コース 微生物コース	2人 5人
	計2回 ( 3年度 1回 ) ( 2年度 1回 )	計15人 ( 3年度 8人 ) ( 2年度 3人 )
(随時研修) レーゼゴットリーブ法研修会 実技：レーゼゴットリーブ法	3月3日	2人

### 【講師派遣】

乳業団体等の依頼を受け、のべ13名(3年度 5名、2年度 4名)の講師等を派遣しました。

#### 派遣実績

研修会の主催者、内容等	期間	場所
東京飲用牛乳協会 牛乳衛生講習会	7月14日	東京都 千代田区
一般社団法人 日本乳業協会 HACCP 実務者講習会	11月1日	東京都
	11月2日	千代田区
	12月7日 12月8日	大阪市 中央区
一般財団法人蔵王酪農センター ナチュラルチーズ製造技術(専門・基礎)研修会	7月20日 9月27日 11月29日 1月24日	宮城県 蔵王町
一般社団法人日本チーズ協会 関東地区コンプライアンス研修会	3月2日	東京都 千代田区
一般社団法人 日本乳業協会 製造管理者講習会	3月24日	東京都 千代田区
酪農団体 生乳検査研修会	12月22日	富山県 富山市
流通企業 ブリード法講習会	1月17日	岩手県 八幡平市

全国農協乳業協会の依頼を受け、「乳業製造技術通信教育」の「牛乳・乳製品検査法」の講師を担当し、テキストの改訂、レポートの課題作成、添削、採点等を行いました。

## 4 研究・技術・調査情報の提供等

### (1) 乳業技術誌の刊行

Vol.71 2021 を刊行し、関係行政機関、酪農乳業団体・企業、関係大学他約 200 施設に配布しました。

編集委員(◎編集委員長)

- ◎松田 幹 福島大学 農学群 食農学類 教授
- 上門 英明 株式会社明治 研究本部 品質科学研究所長
- 小林 敏也 雪印メグミルク株式会社 執行役員 ミルクサイエンス研究所長
- 齋藤 忠夫 東北大学 名誉教授
- 武田 安弘 森永乳業株式会社 執行役員 研究本部副本部長
- 服部 博幸 協同乳業株式会社 研究所長
- 藤川 浩 東京農工大学 名誉教授
- 栗本 まさ子 公益財団法人日本乳業技術協会 代表理事

総説・解説

- サルコペニア予防に向けたタンパク質摂取の重要性(藤田 聡)
- 乳酸菌が生産する抗菌ペプチド:バクテリオシン
- 多様な特性とその利用可能性—(吉田 遥海・竹内 愛子・善藤 威史)
- 牛乳の賞味期限延長と消費段階での取り扱いによる食品ロスの削減(田中 孝)
- 牛乳・乳製品のカルシウム摂取の重要性(上西 一弘)

特別寄稿

- 日本の BSE 発生から 20 年を振り返って(吉川 泰弘)

読者からの話題提供

- 国際食品規格(コーデックス規格)に規定されている乳製品分析法:  
IDF/ISO 合同分析法(菅沼 修)

乳技協だより

- 乳・乳製品の官能評価能力向上のためのとりくみの紹介(大嶋 秀克)
- 検査技術研修会での質問から(山口 千里)

Vol.72 2022 の刊行について、編集委員会における検討を経て、原稿の執筆依頼、編集作業を実施しました。



## (2)全国集乳路線別生乳成分調査

全国の生乳成分(乳脂肪分(F)、無脂乳固形分(SNF))の調査を昭和50年以降継続して実施しており、乳業各社のご協力を得て「全国集乳路線別生乳成分調査第48報」を取りまとめ、協会HPに公表しました。

また地域の区分について、2022年より農林水産省の牛乳乳製品統計調査の集計方法が変わり、関東地域と東山地域が統合されたことから、本調査もこれに合わせて集計しました。

令和4年1月～12月の調査延べ路線数は、工場到着ローリー乳で7,911(令和3年7,771、令和2年7,792)、全生乳生産量(1日あたり)に対する調査対象乳量のカバー率は41.8%(令和3年40.7%、令和2年41.0%)でした。

協力会社名(50音順)

協同乳業株式会社

グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社

信州ミルクランド株式会社

北陸酪農業協同組合連合会

株式会社明治

森永乳業株式会社

雪印メグミルク株式会社

よつ葉乳業株式会社

F, SNFの地域別平均値

単位:%

地域	F	SNF	地域	F	SNF
北海道	4.012	8.836	近畿	3.894	8.824
東北	3.941	8.771	中国	3.949	8.886
関東・東山	3.892	8.791	四国	3.854	8.824
北陸	3.884	8.757	九州	3.931	8.796
東海	3.826	8.795			
			全国平均	3.992	8.830
			〔 令和3年	3.938	8.827
			令和2年	3.930	8.800

## (3)技術関連情報の提供

乳・乳製品の試験検査の手技・手法、品質管理や表示のための試験法、分析値の活用法等に関する乳業者、乳業団体、公的機関の試験検査担当者、6次産業化に取り組む酪農家、流通業者等からの幅広い問い合わせに対応しました。

協会HPに、生乳検査精度管理に関する情報、試験検査に関連する情報、オンラインで実施した講演の動画等を掲載しました。

#### (4)関係機関、関係団体との連携

関係機関、関係団体の会議、委員会等に出席(リモート、書面を含む。)し、情報の収集や意見交換等を行いました。

団 体 等	会合名、内容等
全国飲用牛乳公正取引協議会	常任委員会、専門部会、専門小委員会
(一社)日本乳業協会	定時社員総会、HACCP 検討小委員会
(一社)日本乳容器・機器協会	定時社員総会、理事会
チーズ公正取引協議会	総会、常任委員会、技術小委員会
(公社)畜産技術協会	総会、理事会、監事監査
(公社)中央畜産会	定時総会
東京飲用牛乳協会	品質改善委員会
関東生乳販売農業協同組合連合会	生乳品質改善共励会(代表理事賞)
(一財)蔵王酪農センター	事業推進委員会
全国農協乳業協会	「乳業製造技術者通信教育」講師検討会議
(一社)Jミルク	国際委員会、専門分科会、安全性確保品質向上委員会
(一社)日本チーズ協会	日本チーズ認証基準策定普及事業に係る認証基準策定委員会

#### (5)研究成果の発表

乳業技術 Vol.71「乳技協だより」に、「乳・乳製品の官能評価能力向上のためのとりくみの紹介」、「検査技術研修会での質問から」を掲載しました。

### 5 生乳検査精度管理

生乳検査精度を高い水準で維持することの重要性に鑑み、引き続き、測定機器校正のための試料乳(乳成分用、体細胞数用)の配布、生乳検査外部精度管理調査(技能試験)及び生乳検査精度管理認証制度の業務を実施しました。

#### (1)測定機器校正のための試料乳の配布

乳成分用試料乳配布数 2,669 セット

(3年度 2,719 セット、2年度 2,756 セット、元年度 2,774 セット)

体細胞数用試料乳配布数 392 セット

(3年度 397 セット、2年度 406 セット、元年度 369 セット)

配布に併せ、キャリブレーション参考資料を協会 HP に毎月掲載しました。

#### (2)生乳検査外部精度管理調査

参加施設:105 施設(3年度:107 施設、2年度 109 施設、元年度 110 施設)

参加施設名を協会 HP に掲載して公表するとともに、「参加証」を引き続き発行しました。

### (3)生乳検査精度管理認証制度

生乳と乳製品の競争力強化支援事業の生乳検査精度管理認証制度事業((公財)全国競馬・畜産振興会助成(令和3~5年度))を活用して次のように実施しました。

- ・ 認証申請施設の書類調査・現地調査を、新規2、更新21施設について実施し、生乳検査精度管理認証特別委員会(9月、3月)の審議・答申を受けて、10月1日付けで13施設(更新13)を認証(10施設(新規2、更新8)は次年度認証)。
- ・ 生乳検査精度管理委員会を書面開催(3月)し、生乳検査マニュアルの見直しについて審議。
- ・ 生乳検査技術者連絡会をオンライン開催(11月)し、生乳の風味および生乳検査についての講演を実施。
- ・ 信頼性確保部門責任者研修会(1月)をオンライン開催し、認証制度の運用関連の説明を実施。

## 6 国際酪農連盟日本国内委員会

微生物・衛生専門小分科会(8月、1月)、分析技術・衛生専門分科会(8月、2月)、国際規格専門分科会(8月、12月)に参画しました。

### 〔収益事業等〕

所有する土地建物の貸借業務を民間事業者に委託して実施し、運用益は計画を下回りましたが、公益目的事業に充当しました。

## 〔報告事項〕

### 1. 庶務事項

令和 4 年 4 月 13 日	令和3年度HACCP手法支援法指定認定機関高度化計画 認定状況等報告書提出(厚生労働省・農林水産省)
令和 4 年 4 月 21 日 ～ 22 日	公認会計士 指導・監査
令和 4 年 4 月 27 日	令和3年度日本中央競馬会畜産振興事業実績報告書 提出((公財)全国競馬・畜産振興会)
令和 4 年 5 月 19 日	監事監査
令和 4 年 5 月 26 日	消費税申告(麹町税務署)
令和 4 年 5 月 30 日	第31回理事会
令和 4 年 5 月 31 日	消費税納付(麹町税務署) 法人税等納付(麹町税務署他)
令和 4 年 6 月 22 日	令和3年度HACCP手法支援法指定認定機関事業報告書 及び収支決算書提出(厚生労働省・農林水産省)
令和 4 年 6 月 23 日	第16回評議員会、第32回理事会
令和 4 年 6 月 28 日	法人税等確定申告(麹町税務署他)
令和 4 年 6 月 29 日	令和3年度事業報告書等に係る定期書類提出 (内閣府公益認定等委員会)
令和 4 年 7 月 1 日	社会保険算定基礎届完了
令和 4 年 7 月 11 日	労働保険料確定申告書提出(東京労働基準局)
令和 4 年 7 月 20 日	令和4年度畜産振興補助事業応募(地方競馬全国協会)
令和 4 年 8 月 15 日	令和4年度畜産振興補助事業選定申請書提出 (地方競馬全国協会)
令和 4 年 8 月 23 日	ISO認定試験所のサーベイランス ((公財)日本適合性認定協会)
令和 4 年 10 月 18 日	食品衛生法登録検査機関の定期立入検査 (厚生労働省関東信越厚生局)
令和 4 年 10 月 21 日	第33回理事会
令和 4 年 11 月 1 日	第17回評議員会
令和 4 年 12 月 14 日	令和5年度日本中央競馬会畜産振興事業応募 (日本中央競馬会)
令和 5 年 1 月 6 日	乳業諸団体新年賀詞交換会
令和 5 年 1 月 18 日	償却資産申告書提出(千代田都税事務所)
令和 5 年 1 月 23 日	令和5年度日本中央競馬会畜産振興事業実施計画の 承認申請書提出((公財)全国競馬・畜産振興会)
令和 5 年 2 月 14 日	令和5年度畜産振興補助事業応募(地方競馬全国協会)
令和 5 年 3 月 7 日	令和5年度HACCP手法支援法指定認定機関事業計画 書及び収支予算書提出(厚生労働省・農林水産省)
令和 5 年 3 月 22 日	第34回理事会
令和 5 年 3 月 28 日	令和5年度事業計画書等に係る定期書類提出 (内閣府公益認定等委員会)
令和 5 年 3 月 31 日	事業年度終了

## 2. 会 議

第31回 理事会(令和4年5月30日)

- 1) 令和3年度事業報告及び計算書類等の承認について
- 2) 評議員会の日時、場所及び付議すべき事項の決定について
- 3) 事業の執行状況報告

第16回 評議員会(令和4年6月23日)

- 1) 令和3年度事業報告及び計算書類等の承認について
- 2) 評議員及び理事の選任について
- 3) 令和4年度事業計画及び収支予算書等の報告

第32回 理事会(令和4年6月23日)

- 1) 役付き理事の互選について

第33回 理事会(令和4年10月21日)

- 1) 評議員会の日時、場所及び付議すべき事項の決定について

第17回 評議員会(令和4年11月1日)

- 1) 評議員及び理事の選任について

第34回 理事会(令和5年3月22日)

- 1) 令和5年度事業計画及び収支予算書等の承認について
- 2) 特定費用準備資金取崩しの件
- 3) 事業の執行状況報告

## 3. 役 員

令和4年6月23日

下記の役員に関し、第16回評議員会で選任。

再任 理 事 佐藤 雅幸、辻山 弥生

令和4年6月23日

下記の役員に関し、第32回理事会で業務執行理事1名を選定。

業務執行理事 辻山 弥生

令和4年11月1日

下記の役員に関し、第17回評議員会で選任。

就任 理 事 高橋 勉

退任 理 事 松尾 昌一

令和5年3月13日

下記の役員死去に伴い、登記簿謄本を変更。

除籍 理 事 増田 哲也

令和5年3月31日現在

代表理事 栗本 まさ子  
業務執行理事 辻山 弥生  
理事 阿久澤 良造、安部 俊朗、井上 剛彦、小久保 彌太郎、  
佐藤 雅幸、高橋 勉、松田 幹、柳田 恭彦  
監事 佐藤 靖、保井 久子

#### 4. 評議員

令和4年6月23日

下記の評議員に関し、第16回評議員会で選任。

再任 評議員 三浦 晃一  
就任 評議員 佐藤 雅俊、沼田 一政  
退任 評議員 坂口 光一、西尾 啓治

令和4年11月1日

下記の評議員に関し、第17回評議員会で選任。

就任 評議員 菊池 淳志  
退任 評議員 迫田 潔

令和5年3月31日現在

荒川 宏行、五十君 静信、浦島 匡、大貫 陽一、菊池 淳志、  
桑崎 俊昭、小菅 英夫、後藤 正純、齋藤 忠夫、酒井 健夫、  
佐藤 雅俊、島崎 敬一、清水 誠、沼田 一政、畑江 敬子、  
松田 克也、三浦 晃一、水町 功子

#### 5. 職員等の異動

期首人員	20名
採用者	0名
退職者	0名
期末人員	20名

## 令和4年度事業報告 附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年5月

公益財団法人日本乳業技術協会